

放課後デイサービス「ふわふわ」 5 領域支援プログラムについて

当法人の考え方

当法人は、重症心身障害児の方々を受け入れる事業所であることを踏まえた上で、5つの領域を始めとし、総合的な支援が提供できるよう、それぞれのご利用者の特徴を知り、適切な支援が行えるように、各関係機関との繋がりを持ち、より良い支援へ繋げていきます。

1, 心身の健康や生活に関する領域

「健康状態の維持・改善や生活リズムや生活習慣の形成」

昨日と今日の微妙な変化に気付けるよう観察を小まめに行い、適切な対応が行えるよう職員間の連携を深める。また、より安定した生活が送れるよう、御家族との連携に加え、主治医との連携も密に行います。

2, 運動や感覚に関する領域

「姿勢と運動・動作の向上・動作の補助的手段の活用や保有する感覚の総合的な活用」

この領域では、重症心身障害児の姿勢や運動機能を向上させることを目的とし、各種の運動療法や感覚統合療法を実施します。

具体的には、身体の筋力強化や関節可動域の拡大を図るためのリハビリテーションや、感覚統合訓練を通じて、ご利用者が自身の身体をより自由に動かせるようサポートします。また、関係機関等と連携し、適切な補助具の選定や使用方法の指導を行い、日常生活動作の自立を促します。

3, 認知と行動に関する領域

「認知の発達と行動の習得や空間・時間・数等の概念形式の習得」

この領域では、認知機能の発達を支援し、適切な行動の習得を促進します。利用者の発達段階に応じた遊びや学習活動を通じて、空間や時間、数などの概念を理解しやすくするためのプログラムを提供します。また、行動面でのサポートとして、適切な行動を引き出すための行動療法や、問題行動の予防・改善を目的とした支援を行います。

4, 言語・コミュニケーションの獲得に関する領域

「言語の形成と活用やコミュニケーション能力の向上を目指します」

言語やコミュニケーション能力の向上を図るため、この領域では、スピーチセラピーやコミュニケーション訓練を実施します。言語の形成をサポートするために、発音練習や語彙の拡充、文法の習得を目指したプログラムを提供します。また、言語以の

コミュニケーション手段（ジェスチャーや絵カード、コミュニケーションデバイス）の活用も重視し、利用者が周囲とのコミュニケーションを円滑に行えるよう支援します。

5, 人との関わりに関する領域

「他者との関わり（人間関係）の形成や社会性の向上」

この領域では、他者との良好な関係を築くためのスキルを育成します。具体的には、社会的なルールやマナーの習得、集団活動への参加を通じて、社会性の向上を目指します。また、グループワークや交流イベントを通じて、他者とのコミュニケーションや協力する力を養い、社会参加の意識を高める取り組みを行います。

「ふわふわ」では、心や身体、社会生活スキルなど幅広い視点で利用者さんの「困り感」に寄り添えるよう個々の発達の課題を5領域に分け、個別支援計画を作成します。

また、支援計画の定期的な評価、見直しを行い、支援の質の向上を図っていきます。

特定非営利活動法人 ぴのきお

令和6年10月1日 策定